有明高専だより

第170号
2026.11



What’s up★有明高専の皆さん



手作りバスボムで「しゅわっ」と炭酸入浴
（ものづくり体験教室）



九州高専交流会（学生会）



全国高専大会 卓球 シングルス



テープカットの様子
（若葉棟竣工式）



マーライオン公園で記念撮影
（２年生シンガポール海外研修）

目次

校長だより・・・・・・・・・・・1
学生の活躍・活動・・・・・・・・2
入試広報・・・・・・・・・・・・4
産学連携・・・・・・・・・・・・5
学生会だより・・・・・・・・・・6
九州沖縄地区高専体育大会・・・・・7
全国高専体育大会・・・・・・・・・8
岱明寮だより・・・・・・・・・・・9
グローバル教育・・・・・・・・・・10
部活動紹介（漫画研究部・美術同好会）・・・12

校長だより

未来を拓く「挑戦」と「協同」



有明工業高等専門学校　校長　大塚 弘文

本年４月に校長として着任いたしました。どうぞよろしくお願い致します。

気づけば厳しい暑さが続いた夏も過ぎ、キャンパスにはさわやかな秋の風が吹き始めました。長い夏季休業を終えて登校してきた学生たちの表情からは、それぞれが充実した時間を過ごし、一回り成長した様子がうかがえます。

この夏、本校では２年生を対象としたシンガポール海外研修を実施しました。１学年をＡ団、Ｂ団の２グループに分けて実施し、私はＡ団の団長として学生たちと行動を共にしました。出発前の学生たちには期待と不安の両方が見られましたが、現地ではその不安を乗り越え、積極的に行動する姿が印象的でした。英語でのコミュニケーションに挑戦し、多様な文化や価値観に触れながら、自分の考えを伝えようと努力する姿に、私自身も大きな感銘を受けました。言葉が十分に通じない場面でも臆することなく相手を理解しようとする姿勢からは、若い世代の大きな可能性を感じました。

帰国後には、「もっと英語を学びたい」「海外でも活躍できる技術者になりたい」「日本の良さを改めて実感した」といった声が多く聞かれました。新しい世界に触れ、自らの可能性を広げようとする意欲や好奇心は、本校が大切にする「進取創造」の精神に通じるものです。変化の激しい時代だからこそ、未知の課題や新たな価値観に果敢に向き合い、自ら未来を切り拓く力を身に付けてほしいと願っています。一方で、学生たちが仲間と支え合いながら行動し、多様な文化的背景を持つ人々と交流する姿も数多く見られました。相手を理解し、互いの違いを尊重することの大切さを学んだ経験は、本校の教育理念である「和神養素」の精神を育む貴重な機会になったことでしょう。

また、本校では９月25日、岱明寮総合落成式を執り行いました。令和２年度から進めてきた学生寮改修事業が、若葉棟の竣工をもって完了し、一連の整備が大きな節目を迎えました。ご支援、ご協力をいただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。

本格運用は来年４月からとなりますが、新たな岱明寮には300名を超える学生が生活できる環境が整います。学生寮は生活の場であると同時に、コースや学年を超えた共同生活を通じて、自立心や責任感、協調性を育む大切な教育の場です。互いに支え合いながら成長する経験は、「和神養素」の実践そのものと言えるでしょう。

この夏、私はシンガポールで新たな世界へ挑戦する学生たちの姿を間近に見ました。そして９月には、学生たちの成長を支える新しい岱明寮の完成を祝うことができました。未来へ向かって挑戦する心と、人とのつながりを大切にする心。この両方を育むことこそが、本校が掲げる「進取創造」と「和神養素」の実践であると考えています。

後期には高専祭「ありタムフェスタ」をはじめ、学生たちが活躍するさまざまな機会が待っています。この夏の経験を糧に、一人ひとりがさらに成長し、自らの夢や目標に向かって歩み続けてくれることを期待しています。今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学生の活躍・活動

Host's English Corner

一般教育科　教員　Richard Grumbine

English　Corner（イングリッシュ・コーナー）は、大牟田市のFMラジオ局　FMたんとで放送されている隔週放送の英語番組です。本番組は、FMたんとの情報番組「What's Up ★有明高専」の一コーナーとして放送されています。

番組では、すべて英語で行われる短時間のインタビューをお届けしています。出演者は主に本校の教職員、学生、ならびに留学生であり、文化や学校生活に関する話題を中心に紹介しています。インタビューは主にEnglish Labにて収録されています。

今年度の司会は、古賀愛花さん（4E）が務めています。古賀さんは入学以来、English Speaking Societyの積極的なメンバーとして活動しており、日頃からEnglish Labを訪れ、多くのEnglish Labのイベントにも参加しています。また、番組では留学生へのインタビューを数多く担当するなど、国際交流の推進にも積極的に貢献しています。

English　Cornerは、3年以上にわたり放送を続けています。番組はFMたんと公式アプリ、またはFMラジオの79.3MHzでお聴きいただけます。



Manaka Koga (4E), Habu (5I) Asahi Sakagami (4M),
Prof Grumbine, Chizuru Haraguchi (3E)

第三種電気主任技術者に合格しました

エネルギーコース　5年　木村　匠

私は８月末に第三種電気主任技術者に合格しました。３年生の７月に第二種電気工事士、４年生の11月に第一種電気工事士を受験して合格し、その勢いで第三種電気主任技術者に挑戦し合格したという流れです。第三種電気主任技術者に資格勉強は大変でしたが、エネルギーコースの先生方の協力のおかげで合格することができたとともに、自分自身の電気に関する知識を更に深めることができたので良い経験になったと思います。資格取得で培った知識を更に深めて今後に活かせるように努力していこうと思います。



筆者

応用物質工学専攻の学生が多方面で活躍

応用物質工学専攻　教員　出口　智昭

2026年６月に北九州国際会議場で開催された第63回化学関連支部合同九州大会では、本校専攻科応用物質工学専攻１年生の若月さんが農芸化学の分野で、鷲見さん、松井さん、兼岡さんが化学工学の部門で研究発表を行いました。発表者のほとんどが大学院生である中で鷲見さんが優秀発表賞を受賞しました。

受賞研究テーマ：「メディエーターを共固定したラッカーゼ膜とファインバブルの協奏効果によるフェノール化合物の高効率分解システムの構築」

また、専攻科２年生の末宗さんは夏休みにNPO法人九州キリスト災害支援センターを通じて令和８年熊本地震の災害支援活動に参加し、特に被害が大きかった八代市を中心に炊き出しや家財・瓦礫の撤去などを行いました。末宗さんは、「被災地域の一日も早い復興を願うとともに、こうした自然災害が多い社会に対して貢献できる人材になるため、より一層学業に励みたいと思います」と語っています。


校長室での授賞報告
（中央：鷲見さん）


災害支援活動
（末宗さん）

放送250回となる有明高専のFM番組「What's up★有明高専」

メカニクスコース　教員　篠﨑　烈

学生がパーソナリティーとして有明高専を紹介するFM番組「What's up★有明高専」が、2027年２月に放送250回を迎えます。この番組は地元のFM放送局「FMたんと」が、毎月第１、第３金曜日の19:00～19:15から放送しているもので、４年生３名、３年生７名のパーソナリティーがフリートークやインタビューを行います。また、英語研究部の学生やグランバイン先生によるイングリッシュコーナーもあり、盛り沢山な番組です。

番組は毎週１回開催されるミーティングで最新ニュースや話題を出し合って、放送時期と内容が一致するように構成されます。学生自らがレコーダーを持ってインタビューするんですよ！「部活でも愛好会でもない学生有志の集まり」ですが、就職や進学に役立ったという学生の感想もあります。みなさんもパーソナリティーをやってみませんか。そして、第１、第３金曜日の19:00からちょっとだけ聴いてみてくださいね。



パーソナリティーの学生が楽しく参加する番組構成のミーティング

電気・情報関係学会九州支部連合大会で優秀ポスター賞を受賞

生産情報システム工学専攻　２年　武藤 叶弥

2026年度第79回電気・情報関係学会九州支部連合大会の学生ポスターセッションに参加し、「スケールフリーネットワークにおける静的フロー配置アルゴリズムへのリンク輻輳指標の適用」について発表し、優秀ポスター賞を受賞しました。

本研究では、通信ネットワークにおける負荷の集中を抑えるため、ネットワークの接続構造から混雑しやすいリンクを推定する指標「LCI」を従来のフロー配置手法に適用しました。評価の結果、約８割のネットワークで負荷の集中が緩和され、提案手法の有効性を示すことができました。

発表では、研究内容を簡潔かつ分かりやすく伝えることの難しさを感じましたが、今回の優秀ポスター賞の受賞は大きな自信になりました。今後は異なるネットワーク構造での評価を進め、さらなる性能改善を目指して研究に取り組んでいきたいです。



校長先生に受賞報告（中央が筆者）

「建築士予定者との交流会」に参加しました

建築コース　教員　佐土原 洋平

建築コース３年生が、一般社団法人・福岡県建築士事務所協会県南支部の主催による「建築士予定者との交流会」に参加しました。本校を貸切バスで出発し、午前中は広川町立下広川小学校を見学しました。

同校は2018年に完成した大規模な木造校舎で、地元産のスギ・ヒノキが構造材や内外装に用いられており、湾曲集成材による多目的ホールの小屋組みなど、木材の特性を活かした構成を実際に見ることができました。第５回福岡県木造・木質化建築賞（木質化の部・優秀賞）を受賞した建物でもあり、図面や写真だけでは分からない空間の大きさや木の質感を、学生たちは熱心に観察していました。

午後は八女商工会議所に会場を移し、昼食ののち意見交換会が行われました。実際に活躍されている建築士の皆様から、設計のヒントや現場で必要な言語など、多岐にわたるお話をうかがい、学生からの質問にも丁寧にお答えいただきました。



ホールを見学している様子

入試広報

オープンキャンパスや学校説明会

令和８年度の入試広報イベントには、昨年度を上回る多くの皆様からお申し込みをいただいています。中でも、オープンキャンパスは６月14日、８月８日の２回にわたって開催し、多くの中学生と保護者の皆様にご参加いただきました。

また、学校説明会についても、本校をはじめ、久留米、天神、オンラインなどで開催しています。これらの入試広報活動では、本校学生にも大いに協力してもらっています。特に、オープンキャンパスでは、各コースでの説明や質問対応、会場内の誘導など、さまざまな場面で学生が活躍しています。この場を借りて、協力してくれている学生の皆さんにお礼申し上げます。ありがとうございます。

オープンキャンパスや学校説明会の参加者アンケートでは、非常に高い満足度をいただいています。そして、自由記述の回答などを見ると、特に高く評価されているのが本校の「学生」です。学生から直接話を聞くことで、学校生活の様子や有明高専の雰囲気をより身近に感じていただいているようです。有明高専のオープンキャンパスにおける最大の魅力の一つは、設備や説明資料だけではなく、そこで学び、活動している学生そのものなのだと感じています。

学生の皆さん、これからも入試広報活動へのご協力をよろしくお願いします。そして、一人でも多くの中学生に有明高専の魅力を知ってもらい、新しい後輩たちを迎えることができればと思います。



オープンキャンパスの様子　その１



オープンキャンパスの様子　その２



３高専合同学校説明会の様子　その１



３高専合同学校説明会の様子　その２

産学連携

地域教育支援事業

本校では、地域教育支援事業として、大牟田市や荒尾市などの小・中学校を対象とした出前授業や、地域の皆様に科学やものづくりの楽しさを体験していただく取組を実施しています。今年度の有明高専ものづくり体験教室には約1,000人の方にご来場いただき、20を超える体験テーマを楽しんでいただきました。今後も地域のニーズを踏まえた教育支援活動を推進し、地域に貢献してまいります。

地域教育支援事業（４月～９月）

No.	学校名・主催	講座名	開催日
１.<小中学校対象>（連携協力推進会議事業）			
【大牟田市教育委員会】			
1	平原小学校	犯人を捜せ！～化学分析を体験しよう！～	９月29日
【荒尾市教育委員会】			
1	荒尾少年少女発明クラブ	液体窒素で遊んでみよう	４月19日
2	荒尾第一小学校	犯人を捜せ！～化学分析を体験しよう！～	９月８日
２.<本校主催事業>			
1	（協力）高専サイエンス支援ネット	有明高専ものづくり体験教室	８月20日
３.<その他依頼事業等>			
1	大牟田市石炭産業科学館	三池炭鉱で使用された「電気機関車」の乗れるモデル運転展示	５月３日



荒尾少年少女発明クラブ（出前授業）



荒尾第一小学校（出前授業）



手作りバスボムで「しゅわっ」と炭酸入浴
（ものづくり体験教室）



模型でつくる“憧れのマイハウス”
（ものづくり体験教室）

学生会だより

春季クラスマッチ

５月22日、春季クラスマッチが行われました。天候にも恵まれ、晴天時用の競技を行いました。この日のために、何週間も前から休み時間や放課後に練習を重ねてきた学生も多く、当日は各クラスが力を合わせ、熱戦を繰り広げました。競技中には、仲間への声援や励ましの声が飛び交い、クラス全体で協力する姿が多く見られました。

競技や応援を通して、普段の学校生活では見られない一面を知る機会にもなり、クラスの絆をさらに深める一日となりました。今回の経験を今後の学校生活にも生かしてほしいと思います。

九州高専交流会

９月２日から４日までの３日間、九州高専交流会を行いました。佐世保、大分、八代、鹿児島、沖縄の各高専から学生を迎え、交流を深めました。

１日目は、ビンゴやバレーボールなどのレクリエーションを通して親睦を深め、２日目と３日目は、各校の活動や学校生活について意見交換を行いました。交流を通して、新たな発見や今後の活動につながる改善点を見つけることができました。

また、食事会などを通して学校の垣根を越えた交流も生まれ、充実した３日間となりました。今回の経験を今後の活動に生かしていきたいと思います。



クラスマッチの様子　その１



クラスマッチの様子　その２



クラスマッチの様子　その３



九州高専交流会 参加者全員で記念撮影



九州高専交流会 食事会の様子



九州高専交流会 レクリエーションを楽しむ学生

九州沖縄地区高専体育大会

陸上競技

男子3000mSC：２位　藤木 宏人
男子砲丸投：１位　中島 駿
　　３位　東 龍喜
男子円盤投：１位　中島 駿
　　２位　東 龍喜
女子走幅跳：２位　福田 理沙

ソフトテニス

男子団体戦：２位
男子ダブルス：２位　久保田 旺芽・西村 匠生

バドミントン

女子団体戦：１位
女子シングルス：１位　江口 礼
女子ダブルス　：２位　江口 礼・永江 美結
　　３位　江口 詩織・永江 美穂

水　泳

男子自由形 50m：３位　廣瀬 大翔
　自由形400m：１位　田中 虎太郎
　自由形800m：２位　田中 虎太郎
　　３位　森田 誠司
　背泳ぎ100m：１位　宮本 一路
　背泳ぎ200m：１位　宮本 一路
平泳ぎ100m：２位　田畑 瀬名
平泳ぎ200m：１位　猿渡 真尋
バタフライ100m：２位　猿渡 真尋
バタフライ200m：３位　森田 誠司
リレー：２位
メドレーリレー：１位

卓　球

男子団体戦：２位
男子シングルス：１位　青山 涼真
　　３位　大沢 舞輝

剣　道

男子団体戦：１位
男子個人戦：１位　奥園 健之郎
女子団体戦：３位
女子個人戦：３位　西 笑

バレーボール

男子：３位　　女子：３位

ハンドボール

男子：２位

テニス

女子団体戦：２位
女子ダブルス：２位　本郷 結衣・福島 愛美
女子シングルス：３位　本郷 結衣
　　３位　福島 愛美

弓　道

男子団体戦：２位
男子個人戦：３位　城野 情大

硬式野球

１回戦敗退

バスケットボール

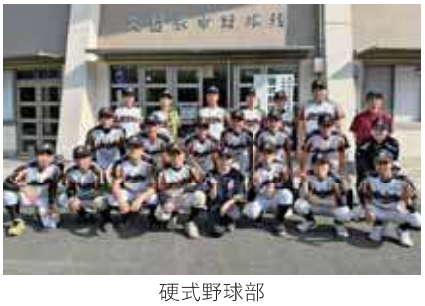
予選敗退

柔　道

予選敗退


ソフトテニス部


剣道部


硬式野球部

全国高専体育大会

陸上競技

男子砲丸投：３位　中島 駿
男子円盤投：５位　中島 駿
男子3000mSC：６位　藤木 宏人
女子走幅跳：16位　福田 理紗

ソフトテニス

男子団体戦：予選敗退
男子ダブルス：１回戦敗退

バドミントン

女子団体戦：予選敗退
女子シングルス：２回戦敗退
女子ダブルス：１回戦敗退

水　泳

男子自由形50m：予選敗退
男子自由形400m：12位　田中 虎太郎
男子自由形800m：11位　田中 虎太郎
18位　森田 誠司
男子背泳ぎ100m：８位　宮本 一路
男子背泳ぎ200m：５位　宮本 一路
男子平泳ぎ100m：予選敗退
男子平泳ぎ200m：６位　猿渡 真尋
男子バタフライ100m：予選敗退
男子バタフライ200m：予選失格
男子リレー：予選敗退
男子メドレーリレー：６位

卓　球

男子団体戦：３位
男子シングルス：１位　青山 涼真

ハンドボール

予選敗退

剣　道

男子団体戦：予選敗退
男子個人戦：２回戦敗退
女子個人戦：３回戦敗退



ソフトテニス部


卓球部


ハンドボール部


水泳部

岱明寮だより

岱明寮では、６年前より全面改修・改築を進めてきました。これまでに桜棟、食堂棟（愛称「あらたば」）、銀杏棟、紅葉棟が順次竣工し、最後に残されていた若葉棟の改築工事が完了しました。これにより、岱明寮全体が新しい寮として生まれ変わりました。

これに合わせて、令和８年９月25日には岱明寮総合落成式並びに若葉棟竣工式を執り行いました。当日は多くの来賓の方々にご出席いただき、新棟の建設にご尽力いただいた建設会社への感謝状贈呈やテープカットも行いました。

改修・改築工事が始まった頃は新型コロナウイルス感染症の流行下にありましたが、多くの教職員や関係者の皆様の協力により、現在は穏やかな寮生活を取り戻すことができています。今回の工事完了により、工事期間中の寮生の受け入れ人数の制限もなくなります。新しい岱明寮で、今後はさらに多くの寮生が生活をともにすることが期待されます。



大塚校長による落成式式辞


株式会社大岡組への感謝状贈呈


喜びの言葉を述べる寮長の５Ａ平野さん


改築された若葉棟を案内する様子



テープカットの様子

グローバル教育

令和８年度前期に実施した事業

夏の海外派遣として、学生が以下の事業に参加しました。

１）「２年生シンガポール海外研修」は、今年度は２年生203名が参加し、研修を実施しました。日程は２年３・４・５組のA団が９月11日～15日、２年１・２組のB団が９月12日～16日で、いずれも３泊５日でした。今年度から、協定校であるシンガポール・ポリテクニック校（SP）を訪問し、SPの学生との国際交流を行いました。研修中に一人の体調不良者も出すことなく、充実したプログラムを予定通り終えることができました。



マーライオン公園で記念撮影



マリーナバラージでの見学



食事の様子



シンガポール・ポリテクニック校にて

２）豊橋技術科学大学主催・2026年度ペナン海外研修（異文化コミュニケーションプログラム）が８月16日～28日に実施されました。この研修は、全国の高専生を対象にしたもので、本校からは７名の学生が参加しました。高専生と技科大学生・大学院生が一緒になって、英語研修、企業視察、現地大学訪問、歴史文化施設視察等、多彩な活動を行いました。参加学生は、引率者の同行なく日本と現地を往復しました。



現地の学生との交流



修了証を手にする参加者

3）タイ・バンコク企業MK Watertechインターンシップで、8月16日～9月19日に、本校の生産情報システム工学専攻１年生の溝田隼士さんと応用物質工学専攻１年生の鷲見千尋さんが参加しました。
インターンシップでは、取引先の企業訪問に同行して打ち合わせに参加したり、実際の水処理施設を見学したり、また、現地スタッフの方々と食事をする機会もあり、学校では得ることのできない貴重な経験を積みました。


廃水処理施設見学の様子



企業訪問


現地スタッフとの食事

今年度の後期の主な事業

① 夏実施の海外研修・インターンシップ報告会

10月20日、夏季休業中に研修等に参加した学生が成果を発表する報告会を実施しました。本報告会の様子は、高専機構本部および豊橋技術科学大学へライブ配信されました。

②「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」説明会

11月に、１・２年生を対象とした「高校生コース」、３年生から専攻科１年生を対象とした「大学生コース」の説明会を実施しました。応募者は、書類選考および面接を経て採択されると、来年度海外へ渡航することとなります。有明高専では、過去に17名の先輩たちが採択・派遣されています。

③ Student Research Symposium 2026

高専機構が進めるベトナム支援事業の一環として、本校は、ホーチミン市にあるカオタン技術短期大学への支援を行っています。今年度は11月17日～20日に学生を派遣し、「Student Research Symposium 2026」を実施しました。シンポジウムでは、ロボット研究部の活動紹介や技術に関する発表を英語で行い、活発な交流が行われました。また、本校とカオタン技術短期大学との間で学術協定を締結しました。

④ 英語プレゼンテーションワークショップ

毎年オンラインで実施しているカナダ人講師による講座を、今年度は12月と１月に例年通りオンラインで実施します。本講座は全３回で構成されており、英語による発表のポイントを学ぶとともに、実践的な演習を通してプレゼンテーション能力の向上を図ります。

⑤ トゥールーズ（フランス）アカデミックインターンシップ派遣

２月～３月にフランスの協定校であるトゥールーズIUTへの学生派遣を予定しています。相手校からは、毎年４～６月に学生を受け入れており、本校からも専攻科生および４年生を対象に、２か月を実施しています。

⑥ スウェーデン研修

ストックホルムの協定校であるスウェーデンNTI校への派遣事業を、令和５年度からスタートし、今年度も３月に10日間の予定で、学生10名の派遣を行います。相手校での授業参加のほか、大学での特別授業、ホームステイなどのプログラムが予定されています。研修では、すべての場面で学生自身が主体的に発言する英語力と積極的な姿勢も求められます。

⑦ スウェーデンNTI校からのインターンシップ受入

ストックホルムの協定校から毎年３月～４月に７週間の日程でアカデミックインターンシップ学生を受け入れる予定です。さまざまな異文化に触れて、多くの学びを得ることが期待されます。

部活動紹介

漫画研究部

漫画研究部は、20名弱の部員が所属し、年間を通してそれぞれの個人制作に取り組んでいます。普段の活動では、部員が集まってイラストや漫画などを制作しています。描くジャンルはさまざまで、デジタル派もアナログ派も机を並べて、創作活動をしています。また、互いの作品を見せ合ったり、制作や漫画そのものについて意見を交わしたりすることも、日々の活動の楽しみの一つです。

ありタムフェスタでは、日頃の制作の成果として、イラストや漫画をパネルで展示するほか、映像を用いた展示にも取り組んでいます。また、校内での活動にとどまらず、漫画コンペやイラストコンテストなどにも積極的に参加し、外部への作品発表にも挑戦しています。

さらに、毎年、疋野神社へ部員が制作した絵馬を奉納しています。日々の制作から作品発表まで、創作活動に取り組んでいる部活動です。



ありタムでは展示だけではなく、交流も



制作・奉納した絵馬

美術同好会

美術同好会は、20名弱のメンバーが所属しています。近年同好会に昇格しました。普段は個人で絵を描いたり、互いの作品を見せ合ったりしながら、和気あいあいとした雰囲気の中で共同制作に取り組んでいます。ありタムフェスタに向けては、メンバーでアイデアを出し合いながら共同制作パネル制作にも取り組んでいます。活動内容は、絵画などのファインアートに限らず、イラストやデザイン的な表現などさまざまで、絵画展への応募や、ありタムフェスタにて展示も行っています。経験の有無にかかわらず、制作を楽しみながら新しい表現に触れられることも、美術同好会の特徴です。

また、漫画研究部とともに、毎年、疋野神社へ制作した絵馬を奉納しています。個人制作と共同制作の両方を通して、ものづくりの楽しさを共有しながら活動しています。


表現は様々に描いています


ありタムでは個人制作を展示

E　：エネルギーコース
C/L：応用化学／環境生命コース
M　：メカニクスコース
I　：情報システムコース
A　：建築コース
G　：一般教育科

有明高専だより　第 170号
編集：有明高専企画・広報室

〒836-8585　大牟田市東萩尾町150
TEL 0944-53-8861（学生支援係）
https://www.ariake-nct.ac.jp/